

広済寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣済寺

〒933-0344 富山県高岡市笹川98

TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail info@kosaiji.net

ホームページ

http://kosaiji.net/

法座のご案内

七月三十一日(土)・八月一日(日)
黎明講座
九月二十三日(木)
秋季彼岸会



今号の法語



目をあけて
眠っている人の
目をさますのは
なかなかむずかしい

内容・五位組夏休み子ども大会開催します！
・第二回五位組大遠忌団体参拝募集中
今号・五位組東日本大震災第二次支援活動

目を開けたまま眠っている人。どうやらこのような人は少なくはないようです。

「目を開けている」、「起きています」つもりでも実は眠ったまんま。自分ではちゃんと「目が見えている」、と思つていても実はそれはまだまだ深い深い眠りの中……。夢の中でいくら目を開いていたとしても、現実の世界は全く見えていません。

しかも本人は「目を開けている」、「起きています」と思っているから大変です。夢の世界を疑うことなく、真実の世界に目覚めることなく、迷いの世界に眠り続ける……。

なんだか恐ろしいですね。早速自分自身で目をこすってみましょう。どうですか？目が覚めましたか？私は何も変わりません……。

やはり仏様のお話を聞かせていただきましょう。

第13回

五位組夏休み子ども大会開催！

日時 7月30日(土) 午後1時より
 会場 西福寺(高岡市 辻)
 内容 ゲーム・自転車ショー・紙芝居など



今年もやって来ました。今月三十日(土)午後一時から第十三回五位組夏休み子ども大会が開催されます。会場は高岡市辻の西福寺さんです。毎年様々な地区から子供たちが集まってきてくれます。

仏様にお参りしてからは、ゲームや自転車ショー、紙芝居などなど、みんなで様々なことをして楽しめます。

近年、この子ども大会の目玉となっているのが自転車

ショーです。BMXびーえむえくすと呼ばれる小さな自転車に乗って、いろんな技をプロのライダーが見せてくれます。ジャンプ台を使った大技から、地面の上でクルクル回るトリッキーな技に子供たちはいつも目を輝かせています。

今年の出演者も昨年に引き続き、世界大会優勝経験者を含めた国内でも有名な方々です。外国人もビックリしたその演技をお父さん方にも是非ご覧になってみてください。

さい。
 持つてくる物は、お経の本とお念珠です。新入生や初めての参加者などまだ持つていないという方は会場でプレ

第二回

五位組大遠忌団体参拝募集中！

日時 11月13日(日)～14日(月)の一泊二日

費用 35000円

(おかみそり希望者は別途一万円が必要)



※ 現在、広済寺門徒では10名程集まっております。

♪ ゼントしますのでお楽しみに♪
 ホームページにもチラシがで
 き次第アップします。出演予
 定のBMXライダーの紹介動
 画もアップしますので是非ア
 クセスしてみてくださいね♪

東日本大震災支援活動

五位組第二次支援

六月十二日夜から十五日まで五位組東日本大震災第二次支援活動に行ってきました。今回は二十代の門徒さんも参加してくださり若い力いっぱい活動してきました。活動場所は宮城県の七ヶ浜町。仙台市から東に車で一時

泥を洗い落とした写真が整理されている



間弱のところ
です。
活動内
容は、
日中は
七ヶ浜
町ボラ
ンティ
アセン

ターを通して活動、夕方からは隣にある七ヶ浜町避難所での炊き出しです。

初めての二日間同じ場所での炊き出しということで今回一日目は豚汁、二日目はうどんをささせていただきました。うどんでは富山県独特の昆布巻きの蒲鉾かまぼこやとろろ昆布



のトッピングに被災者の皆さんも珍しそうにしながら「おいしい」と言ってお食べていただくことができました。

またボランティアアセンターを通して活動は、一日目は瓦礫れきから出てきた写真の仕分け

作業、二日目は側溝掃除等をさせていただきました。

写真の仕分けでは戦前からのついでに最近の結婚式のものまで様々な写真がありました。この写真が持ち主の元に届くことを願いながらの作業でした。

側溝掃除は三十人ほどで



側溝掃除はなかなか進まず臭いもきつい

行ったのですが、一斉にかつても一日で進むのは百メートルちよつと。側溝の中は様々なものが流れ込み水をせき止め、真つ黒になった臭い水が作業のスピードを鈍らせます。土嚢のり袋が足りないとの報道がありました。いくら詰めてもなかならない流入物の量に気が遠くなる思いでした。詳しくはブログ「広済寺かわら版」を御覧ください。

お知らせ

二〇二一年

第十三回 五位組

夏休み子ども大会

七月三十日(土)

午後一時半より

場所 西福寺(高岡市辻)

黎明講座

七月三十一日(日)

午前五時半より

御講師

氷見組 法順寺

圓山 清師

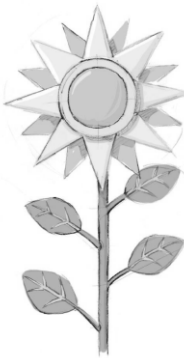
八月一日(月)

午前五時半より

御講師

奈良組 光雲寺

久堀 勝敏 師



両講合同夏期講座

八月五日(金)

午後一時より

場所 こぶし荘(舞谷)

広済寺護持会総会

八月七日(日)

午後二時より

盂蘭盆会

八月十五日(月)・十六日(火)

午後二時より

秋季彼岸会

九月二十三日(金)

午後二時より

御講師

新湊組 覚円寺 若院

青木 哲隆 師

正信偈を読む会

毎月第三土曜日

午後四時より

広済寺仏教婦人会

毎月第四土曜日

午後七時半より

編集後記

五位組大震災支援活動とは別に、高岡教区寺族青年会としても震災支援に参加させていただく縁がありました。

活動場所は石巻市にある本願寺派のお寺でした。石巻市は五千人以上の犠牲者がでているところです。海岸部は建物がほとんど残っていないという状況でした。

お寺も例外なく大きな被害を受けていました。御堂に安置されていた阿弥陀様をも飲み込む高さで津波はやって来たようです。津波が引いた後は一面瓦礫の山。墓地も全て壊されていました。

無事なお墓は一つもありません。全て倒され流され瓦礫に埋まってしまっていました。瓦礫を撤去するにも重機は

入れないので全て手作業です。十数人で活動しても一日で片付く量は全体から比べるとごくわずか。

全国から集まった有志達が集まっています。活動しているが毎日、四ヶ月経った今も撤去作業は続いています。

被災地から離れて暮らす私はいまだ震災のことを忘れがちです。「悲しみに寄り添う」という言葉の重みを感じます。

